

市立函館病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2023 年 6 月 22 日

① 研究課題名	結腸憩室穿孔・穿通症例における腹腔鏡手術と開腹手術の比較検討			
② 対象者	当院消化器外科で 2006 年 1 月から 2022 年 12 月に手術治療をうけられた結腸憩室穿孔・穿通の方			
③ 実施予定期間	病院長許可日 ～ 西暦 2023 年 12 月			
④実施機関	市立函館病院			
④ 研究代表者	氏名	下國 達志	所属	市立函館病院 消化器外科
⑤ 当院の研究代表者	氏名	下國 達志	所属	市立函館病院 消化器外科
⑥ 使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑦ 目的	穿孔・穿通を生じた結腸憩室は殆どが腹膜炎を併発しており、そのため手術侵襲は高度となり重篤な術後合併症を生じる可能性が高い。しかしながら穿孔・穿通例においても、審査腹腔鏡での腹腔内評価や手術操作での工夫を加えた腹腔鏡手術を施行することで、周術期成績の改善に寄与し得る可能性がある。本研究では、結腸憩室穿孔・穿通症例における当院の腹腔鏡手術の成績を開腹手術症例の成績と比較し、腹腔鏡手術の有用性を検討することを目的とする。			
⑧ 方法	腹腔鏡手術症例および開腹手術症例において、臨床因子(年齢、性別、BMI、ASA 分類、病変部位、緊急/待機手術)、手術成績[手術時間、出血量、人工肛門造設有無、術後合併症(Clavien-Dindo 分類)、術後在院日数]を比較検討する。			
⑩倫理審査	市立函館病院 研究倫理委員会			
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	名前、住所など患者さん個人を特定できる情報は削除して管理します。 情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。			
⑬利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑭問い合わせ	【当院の相談窓口】 函館市港町 1 丁目 10 番 1 号 市立函館病院 消化器外科 氏名 下國 達志 0138-43-2000 (代表)			